

「意欲的に取り組み，自ら追究する児童の育成」

～ 思考力・判断力・表現力を高める授業改善を通して ～

I 研究内容

1 思考力・判断力・表現力を高める授業づくり・授業改善

本校では昨年度まで「話すこと」や「聞くこと」など「学び合い」に重点をおいた研究を進めてきた。昨年を振り返ってみると，甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとの連携により「Q-U」「NRT」を活用した「学級集団づくり」に重点を置いた研究を採り入れた。様々な取り組みの結果，各学年において学級満足群の児童の割合が増加した。

だが学習面において，各種学力把握調査の結果をに目を向けると，算数の活用問題に対して無回答の児童がいたり，問題の趣旨とはかけ離れている回答を記入しりした児童が多くみられた。

そこで本年度は昨年同様「Q-U」「NRT」を活用しながら，学級満足群の児童の割合を高め，同時にその集団の中で児童が自ら「考え」「判断し」「表現する」ことができるような授業改善に取り組んでいく必要があると考え研究を行うことにした。

- (1) 全国学力・学習状況調査，県の学力把握調査，甲州市の授業改善プラン 2013 を読み解き，求められている学力について理解を深める。
- (2) 各種学力テストなどから，本校の児童の実態を把握し，育てたい子ども像に近づけるための『授業づくりの視点』について明らかにする。
- (3) 『授業づくりの視点』に基づいて，一人一実践に取り組む。

2 学習集団づくり

教室の中の学習集団の把握，指導計画，実際の指導，評価という RPDCA サイクルを活用した学習集団づくりにつなげるために，「Q-U」を活用した指導について研究し，その成果と課題について明らかにする。指導にあたる全教職員が子ども一人ひとりの様子を把握し，全校体制での指導につなげていく。

- (1) 「Q-U」について理論研究を行う。
- (2) 各学年の児童の様子を「Q-U」を基に分析する。
- (3) 「Q-U」の結果を基に，改善策を考え，全教職員で共通理解し，全校体制での指導につなげる。
- (4) 「Q-U」を活用した指導について，考察を行い次年度につなげる。

3 家庭学習

家庭学習が重要であることは。各種調査からも明らかになっており，本校でも課題の一

つとなっている。本校では家庭学習の定着に向けて「いじりの子ノート」を活用した取り組みをすすめてきた。本年は、発達段階に応じた家庭学習の習慣化を図る具体的な指導・支援について明らかにする。

- (1) 全教師で家庭学習の実態把握を行い、全校で情報交換を行う。
- (2) 家庭と連携しながら家庭学習の習慣化、内容の充実に取り組む。
- (3) 家庭学習の課題について明らかにし、来年度の指導・支援にいかす。

Ⅱ 成果と課題

1 成果

- (1) 「確かな学力を身につける」ことは、最重要の教育課題であり、そこにせまる視点として、子どもたちの学び合いを位置付け、理解を深めることができた。
- (2) 資料の読み合わせ、甲州市の学習会で学ぶことが多かった。校内研のテーマに限らず、子どもへの関わり方、授業の構成、学級運営について等、参考になることが多かった。
- (3) 「Q-U」の結果を基に各学年の実態に向かい合い、改善の具体策を練り、それについて全教職員で共通理解し、指導にあたることができた。
- (4) 家庭学習の実態を把握し、その結果を基に家庭と連携し、指導・支援につなげることができた。
- (5) 問題解決的な授業において、ミニホワイトボードに児童が自分の考えをまとめ、友達と討議しながら解決していくという手立てで研究を行ったが、ミニホワイトボードは児童に思考力・判断力・表現力をつけるための有効な手段となった。
- (6) 問題解決的な授業づくりから児童同士の「学び合い」の場が生まれ、児童の授業に臨む態度が能動的になった。

2 課題

- (1) 授業者の意図をはっきり示してもらい、参観者は、そのしかけの可否をしっかりと見きわめ、気付いた点を授業者に伝え、お互いの授業改善にいかすというサイクルを定着させたい。
- (2) 言葉・数・図・表・式などをうまく使いこなせるように、算数科に限らず意識して授業に取り入れていきたい。
- (3) 各教科における「活用」について、更に理解を深め、授業実践にいかしていくことが求められる。
- (4) 算数科の思考・表現の段階で必要とされる数直線や線分図などは、各学年くりかえし児童が身につけるまで計画的に指導していく必要がある。
- (5) 思考力・判断力が高められたかという点についてやや課題がある。言語活動を通じて子ども同士が高め合う授業づくりを更に研究していく必要がある。

3 成果物

- (1) 研究授業・授業実践の指導案

(研究主任 神宮司 剛)